

富良野市脱炭素ロードマップ（素案）について

【答 申（案）】

令和5年2月●●日

富良野市長 北 猛 俊 様

富良野市環境審議会
会 長 高 橋 穰 二

令和4年11月29日付けで当審議会に対し、富良野市脱炭素ロードマップ（素案）について諮問を受け、慎重に審議を重ねて参りました。

その結果、当審議会として次のとおり意見を付して、別添「富良野市脱炭素ロードマップ（素案）」を答申いたします。

なお、富良野市脱炭素ロードマップの推進にあたっては、これらの意見が十分に反映され、ロードマップの中で示された目標の実現に向け、取り組みが推進されることを希望いたします。

記

〈富良野市脱炭素ロードマップ（素案）に関する意見〉

1. 本ロードマップに掲げる目標の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となり取り組みを進め、また、沿線町村とも連携しながら、諸問題の解決に努めること。
2. 市民一人ひとりの省エネルギー化への行動変容と、再生可能エネルギー利用の機運を高めることが重要であり、市民意識の醸成の取り組みを積極的に推進すること。
3. 2050年までの長期的な計画となることから、次世代を担う子どもたちへのゼロカーボンの意識付けが必要であり、環境教育を推進すること。
4. 取り組み推進にあたっては、国及び道と連携することとともに、これらに対して施策の提言を積極的に行うこと。
5. 世界の動向等、エネルギー情勢の変化に対して柔軟に対応すること。